

業務改善推進のためのモデル事業のアンケート結果について😊

令和元年度の業務改善推進のためのモデル事業について、本年2月に本モデル事業の検証のため、アンケート調査を実施しました。今回はその結果についてお知らせします。

1 実施状況

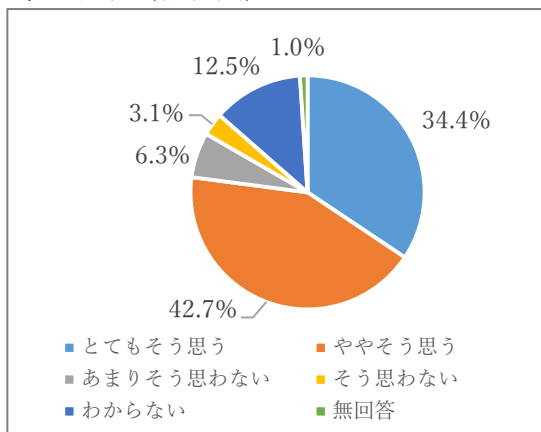
(1) 実施期間：令和2年2月21日(金)～3月13日(金)

(2) 対象者(回答数)：教職員(96人)，保護者(159人)

2 結果概要

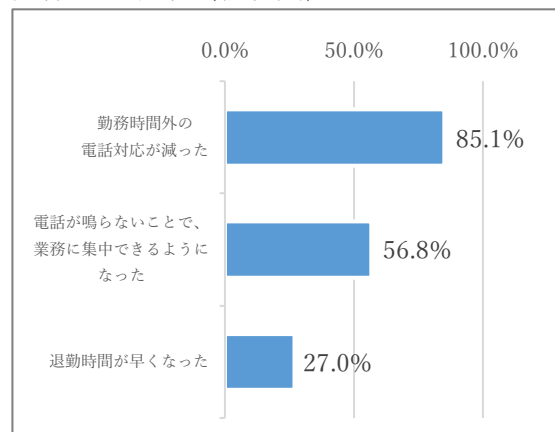
(1) 留守番電話

導入効果(教職員)



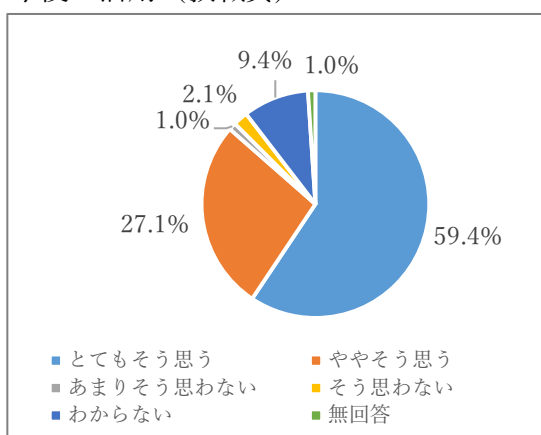
・約77%が、留守番電話導入の効果を感じていた。

具体的な効果(教職員)



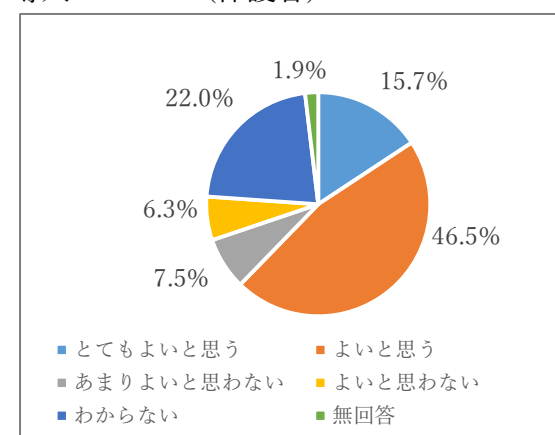
・導入効果としては、電話対応の減少と業務への集中が図られたことが多かった。

今後の活用(教職員)



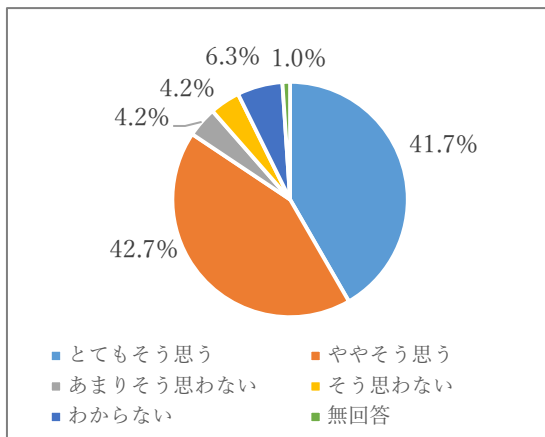
・約87%が、今後も引き続き留守番電話の活用を希望していた。

導入について(保護者)



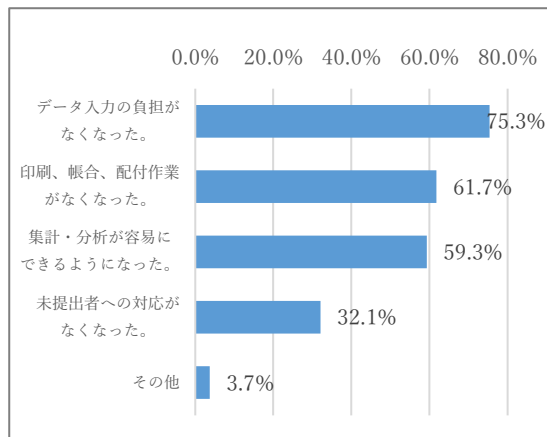
・約62%が、留守番電話の導入に肯定的な回答を、22%が、分からないと回答していた。

(2) インターネットを活用したアンケート調査
導入効果（教職員）



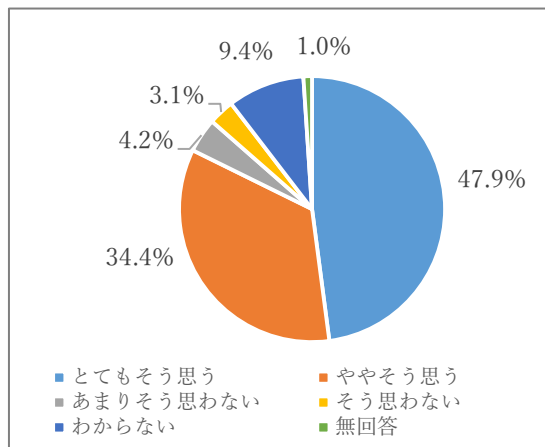
・約84%が、インターネットを活用したアンケート調査の効果を感じていた。

具体的な効果



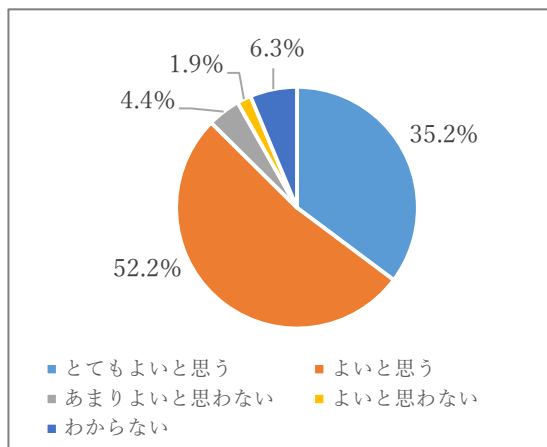
・導入効果としては、データ入力や印刷・配付・集計作業の解消が多かった。

今後の活用（教職員）



・約82%が、今後も引き続きインターネットを活用したアンケート調査の実施を希望していた。

実施について（保護者）



・約87%が、インターネットを活用したアンケート調査に肯定的な回答をしていた。

令和元年度のモデル事業においては、留守番電話とインターネットを活用したアンケート調査のどちらも概ね肯定的な意見が多い結果となりました、この結果を踏まえ、令和2年度のモデル事業では、モデル校を19校に拡大し、実施しています。

🔄🔄🔄 出退勤管理による勤務時間の“見える化”のすすめ😊

ICカードにより出退勤時刻を客観的に把握する取組が始まり、3か月が経ちました。先生方もそろそろ慣れてきたころでしょうか。また、先生方ご自身の3か月間の勤務時間はどうでしたか。これまであまり勤務時間を意識していなかった方も、数値として“見える化”されると、改めて自身の勤務時間を客観的にとらえることができるようです。

まずは、見える化されたご自身の勤務時間をじっくりと見つめなおしてみてもはいかがでしょうか。

「教職員の業務改善のための取組」は[市ホームページ](#)からご覧いただけます😊

このほか、「こういう情報がほしい」などのご要望がありましたら、教育政策課にお知らせください。